

議会運営委員会会議録（令和3年6月15日）

出席委員 中川委員長 開田副委員長 青山委員 原委員 古沢委員 浦田委員
岩城議長（オブザーバー）

欠席委員 なし

説明のため出席した職員 石坂総務部長 櫻井総務課主幹

職務のため出席した事務局職員 藤名局長 高川局長補佐

午前9時00分開会

【中川委員長】 これより、議会運営委員会を開催いたします。

会議日程は、お手元に配付したとおりであります。

日程第1 会議録署名委員の指名をいたします。青山委員、原委員にお願いいたします。

日程第2 令和3年6月定例会提出案件（中滑川複合施設の工事請負契約の締結）について、当局から説明をお願いいたします。

【櫻井総務課主幹】 それでは、おはようございます。

私からは、今ほどあったことについて説明させていただきます。

昨日、入札が実施されました工事名「（仮称）中滑川複合施設建築工事」の入札案件があった件でございますが、入札結果が不落となったことから、工事請負契約の締結について本定例会にて追加議案として提出することがなくなりまして、皆様に審議していただくことがなくなりましたことをご報告させていただきます。

以上でございます。

【中川委員長】 ただいまの説明について、委員の皆さん、何か質問ありますか。

【青山委員】 そうすると、前回皆さんが懸念されていたことがもろに反映されたのかなと思うんですけど、業者さんの、いわゆる全く今まで折衝といたらちょっとあれかも分かんないですけども、要は、雰囲気的には全くゼロだったという解釈でよろしいでしょうか。

【石坂総務部長】 ゼロだったということに関しましては、この場で私どもの予定価格を申し上げることができませんが、6月2日の産業厚生建設委員会協議会で、担当のまちづくり課のほうから1回目のご報告をしたときに、業者から工事完成期限に関する質問がなかったとお伝えしました。そういった訳で、設計価格と市場価格における実勢価格に乖離

があったのではないかと推測して、仕様や設備面、そこら辺の見直しをかけて設計価格を改めてはじき出して、増額したと思うんですけども、結果として入札された価格が予定価格を上回ったといったことであります。

【青山委員】 不調に終わったので聞きづらいんですけども、今後、今のウッドショックだとか資材難というのが多分1年以上続くと業界では言われておまして、コンテナの問題ももちろんそうですし、アメリカの特需の状態がどこまで続くのかちょっと難しいところがあるんですけども、1年以上延びるという中で、いわゆる木材関係や鉄筋コンクリートにしても、結局、型枠だとかいろいろな材料が要るわけで、今後懸念される内容がずっと続くという状況で、何か市として対策は考えていますか。

【石坂総務部長】 今回、2回不調であったといったことでありますので、この中滑川については鋭意吟味していかなければならないところでございます。

昨日の今日でございますのであれですけど、今後担当課のほうで早急に、また慎重にその対応について検討されていくものと思っております。

【青山委員】 それこそ建設系の業種をずっとひもといて、いろんな本を読みますと、明るい材料は一切ありません。人材難も含めてですし、今のたまたま特需の問題を抜かしてでも、今後どんどん不調に終わっていくような状況が当然続くだろうと思うので、何かしら情報を、かなり量を持っていないと、一つの大きなプロジェクトを建設まで持っていけないという状況が続くと思います。ですので、課内でしっかり、これは要望ですけども、検討していただいて、それこそ本当に勉強をいっぱいしていただいて、どうやったら建てられるのかというところを今度研究していかないと、企画しただけで物が建たないという状況が今後続くだろうと思いますので、よろしく願います。

【石坂総務部長】 今おっしゃっていただきましたご意見ですけども、担当課のほうに伝えたいと思います。

【原委員】 ここまで2回も保留ということになると非常に心配しているんですけど、新聞に談合という記事が載っておったんですよ。何の談合か分からんですがですけど、これについて、その出どころもそうだけれども、当局のほうもしっかりと対応していかないと。誰が考えたって談合なんかできるわけがないのに、談合の情報が入ってくるという。そういうものも、やっぱりきちっと判断してやっていかないと、変な談合を勘ぐられるということはあると思うので、しっかりと対応してやってほしいと思います。

【石坂総務部長】 今回に限らず、入札事務につきましては、適正に私どもはやっており

まして、市側においては全く問題がなかったというふうにももちろん思っております。

あとは、相手方がいらっしゃるわけですが、そこら辺は適正にやってくださいよと言うしかないのです。

今回の話につきましては、事実かどうかという確認はできなかつたんですけども、全くそういった不正は認められなかつたのです。嫌がらせといった部分もあるのかどうか、その辺ちょっと私どもでは分かりかねますが。

【開田副委員長】 公共事業が2回不落ということって、あんまりないんじゃないかと思えます。だから、要は1回目落ちませんでした。だから2回目この程度でじゃなくて、慌てないでもう一回きちっと市場調査するべきではなかつたのではないですか。そういうことを反省材料として持ってもらいたいなと思えますね。

例えば、東京ではこれぐらいの建物はどれだけかかるとか、長野だったらどれだけかかるとか、そういうものをざっと調べても、滑川はこれでは安過ぎるんじゃないかとかというところに目が届かなかつたんじゃないかなと思えます。だけど、世の中の動きを見て、滑川市も物を造っていつてもらいたいと思えます。

業者がみんな、滑川はケチだからそんな仕事せんでもいいちゃ、と思つたらこういうことはいっぱい続くと思えます。

【石坂総務部長】 そこら辺の、先ほども言いましたその市場価格との乖離の部分については、今回現場のほうではしっかり調査されたものというふうに思っております。

それから、2回不調だったということは稀なんですけども、過去何年間の中ではそういったこともございましたし、全国的にも、例えば物資のとなり、労務費のとなりということで、何度も不調になったケースというのは報道でもあつたかと思っております。

【古沢委員】 終わったことはしょうがないんだけど、今後はどうなるの。

【石坂総務部長】 今後は、これに関しては、どうするかという部分については今、原課のほうでしっかり対応しておられ、対応を検討中といったところであります。

【古沢委員】 昨日も質問でいろいろ出ていましたが、工期の関係だとかそういったこともあつて、広範囲に情報を集める。一方では、時間的な余裕というのはそんなにないと。相矛盾する話になってくると思うので、それこそ昨日の今日で、この後どうするということは言えないという話なのかもしれないですけども。

そう言われると、私らもその次、どう追加の質問をしていいか分からないけど、これはやっぱり早急に何か対策を立ててきれないと、結局、全部駄目になっていったということ

になる可能性もあるので、よろしくお願ひしたいと思いますがね。

【石坂総務部長】 そこら辺はまた担当課にしっかり申し伝えるとともに、私どもとしても、できるだけみんなで相談しながらやっていきたいと思ひます。

【浦田委員】 いろいろ意見はありましたが、入札、価格だけではなくて工期の問題もあるかと思ひます。

工期についてはこちらでは申せませんが、今価格の話で、安いとかケチだとかという話もありますけれども、適正価格で設計をして、安かったから実勢価格で幾らでも上げてもいいというものじゃないと。私はそれだけ申し上げておきたいと思ひます。

と同時に、特にお願ひしたいのは、市民交流プラザを建設されたときの経緯を思い出していただきたいなど。あのときも不落になったときに、設計屋さんを呼んで意見聴取をしているんですね。私の記憶では、市民交流プラザの時はどういふ変更をしたのか、その中身までも聴取するような機会があったんですよ。ちょっと調べていただければいいと思ひますけれども、私はその例に倣っていただきたいなど。

もしこれから設計変更されるのであれば、当初設計と何が変わったのか。中身がどう変わったのか。あるいは、単価がどう変わったのか。これはやっぱり説明をいただく必要があるだろうと。

これこそ前例があるので、私が今言ったことは間違っているかもしれないので、ちょっと確認を含めて、市民交流プラザの前例をちょっとひもといていただければなというふうには思っています。

【石坂総務部長】 すみません、今の話で確認させていただきたいのですが、設計価格の確認というのは、市が設計業者を呼んだ上でその変更内容について詳しく調査したかどうかということでしょうか。

【浦田委員】 いやいや、例えば議運でも、あるいは産厚建でもいいんですけど、そういうところに設計屋さんを呼んでいただいて、意見聴取させていただく。

【石坂総務部長】 そこら辺を実施するかしないかについてはまた担当課のほうに伝えたいと思ひますけれども、今回、1回目から2回目について、変更した内容については当然原課がしっかり把握しておるものだと思いますので、設計業者は呼ばずとも、もしそういったことになれば、担当課が出てきて説明すれば足りるのかなというふうには思ひますが。

【開田副委員長】 市民交流プラザのとき、私が産厚の委員長でした。

あのときに設計屋さんを呼んで説明を受けたのは、コンクリ片が出てきたということが

理由でした。それと、真ん中を吹き抜けにしていることの意義。そういう説明を聞いたと思います。

だから、落札して工事に入ってから話だったと思います。コンクリ片が後から出てきて、撤去に9,000万という費用がかかるものだから、それで慌ててもう一回設計屋さんを呼んで、委員会で説明を聞いてという経緯だったと思います。

【石坂総務部長】 我々、今のお話につきましては、担当課のほうにこれからしてあげたいと思います。

【中川委員長】 ほかにないですか。

なら、私のほうから。

ともかく焦らずじっくりと考えていただいて、やはり何のために建てようと思ったか、それを思い出しながら、新たな気持ちでこれから取り組んでいただきたいなという思いがありますので、お願いいたします。

【石坂総務部長】 また、原課とともに、そういった形で取り組んでまいりたいというふうに思います。

【中川委員長】 ほかにないですね。

(質疑する者なし)

【中川委員長】 ないようでありますので、それでは、当局の皆さんには退席をお願いいたします。

ご苦勞さんでございました。

(当局退室)

【中川委員長】 それでは、日程第3 意見書の取扱いについてを議題といたします。

まず、一覧表2の原水爆禁止国民平和大行進富山県実行委員会からの「日本政府に核兵器禁止条約への調印・批准を求める意見書採択の陳情書」について、各会派・グループ等で協議いただいた結果を報告願います。

まず、原委員、会派自民。

【原委員】 会派自民は、一致しませんでした。

【中川委員長】 不一致。

【原委員】 はい。

【中川委員長】 古沢委員。

【古沢委員】 一致です。

【中川委員長】 一致。

【古沢委員】 ただ、ちょっと先のほうになってしまいますが、2番、3番というのは内容的には同じ要望だと思っています。

【中川委員長】 開田副委員長、無会派グループ1。

【開田副委員長】 私のところも、ここは不一致でお願いします。

【中川委員長】 はい。

浦田委員はどうですか。

【浦田委員】 2番は不一致です。

【中川委員長】 不一致で。

【浦田委員】 はい。

【中川委員長】 各会派・グループからの報告の結果、不一致ということで意見が一致せず、議運提案としないことといたします。

次に、一覧表3の滑川市平和委員会・滑川9条をイカす会からの「日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書の請願」について、各会派・グループ等で協議いただいた結果を報告願います。

原委員、会派自民。

【原委員】 不一致でございます。

【中川委員長】 不一致。

古沢委員。

【古沢委員】 一致です。

【中川委員長】 一致ですね。

開田副委員長。

【開田副委員長】 不一致です。

【中川委員長】 はい。

浦田委員。

【浦田委員】 不一致です。

【中川委員長】 はい。

各会派・グループからの報告の結果、意見が一致せず、議運提案としないこととします。

次に、一覧表4の富山県医療労働組合連合会からの「安全・安心の医療・介護の実現と、国民のいのちと健康を守る国への意見書採択を求める要請書」について、各会派・グルー

プ等で協議いただいた結果を報告願います。

原委員、会派自民。

【原委員】 会派自民は一致でございます。よろしく願いいたします。

【中川委員長】 一致。

古沢委員。

【古沢委員】 一致です。

【中川委員長】 一致。

開田副委員長。

【開田副委員長】 一致です。

【中川委員長】 一致。

浦田委員。

【浦田委員】 この4番に関しては、私のところは条件付一致ということで申し上げたいと思います。

その条件というのは何かといいますと、内容を見ていただければいいんですが、請願項目が5項目あるんですが、1から4に関しては今のコロナ禍の世界の中での要望ということで、これは当然一致すると思うんですが、5番について不一致という意味で、この文言を削除した上で一致させていただければなというふうに思っておりますので、よろしく取り計らいいただきますようお願いいたします。

【開田副委員長】 文言ちゃ、これ、「社会保障に関わる国民負担の軽減を図ること」のことですか。

【中川委員長】 うん、そうやね。

【開田副委員長】 そうやね。

【浦田委員】 ちょっと付け加えさせていただければ、この内容につきましては、コロナ禍の1番から4番に関して、これは県議会でも一致されて、通ってお話なので、よしとするところなんです。これはぜひ全体でやっていただければなとも思っております。

ただ、県議会ではこの5番のほうは入ってないんですよ。それを読んでいただければ理解いただけると思うんですけども、中身をしっかりと読んでいただいて、検討いただければなと思います。

【古沢委員】 少なくとも私どもは読んだ上で一致と言っています。

【中川委員長】 原委員、何かあります。

【原委員】 いやいや、別にあれですけど、ちょっと今。

【開田副委員長】 これは、社会保障に関わる国民負担軽減を図ることですから、これも含めて、私のところは一致です。

【青山委員】 財源等も絡んでいますから。

【開田副委員長】 それで、いい。

【中川委員長】 では、浦田議員のところは一部条件付ということではありますが、それでも大まか一致ということで。

【浦田委員】 いや。

【古沢委員】 だから、これが入るがやったら不一致だよと。

【浦田委員】 そうそう。「大まか」なんていう表現をしないでください。

【古沢委員】 だから、考え方としては、この5番を削って議運提案にするのか、5番を入れて議員提案にするかなんですよ。

だから、議会運営委員会のメンバーの提案にはしなくて、ほかのメンバーで議員提案するかと。この2つに1つ。あるいは、5番を削ってもいいよというふうになるのか。

【浦田委員】 もう一つ、補足だけ。

私も言葉足らずで説明不足だったんですけど、県議会のやつは十分理解できるんです。県議会のというのは、コロナ禍に特化して賛成しますよという話なので。私はそれに付け加えてある社会保障、このコロナと社会保障は別ですよという見解なんです。誰もコロナ禍に関して反対する人はいないんですよ。でも、これは古沢委員には失礼なんですけども、これに交じってこういう1項目がついてくるからおかしいですよという。

だから、ここは純粋に、コロナ禍で皆さんで取り組みましょうよというのが私どもの思いであって、県議会のやつのをこれを見ていただければ分かるんですけど、5番が入っていないということ。これも自民党さんで多分賛成されたんだと思うんですけども、そういうところをよくよく読みながら解釈させていただいて、条件付不一致とさせていただいた。それとこれは別でしょうという見解です。

【古沢委員】 そこまで言われるのであれば、コロナ禍の下での、例えば介護だとか医療だとかのほかに、昨日の質問にもありましたが、生活困窮する世帯が増えているんですよ。政府もそれなりに何らかの対応をしておられますけれど、医療や介護だけではなくて、社会保障全般について今かなり危機的な状況になっているということは認識をしていただきたいと思います。

【中川委員長】 ほかに意見ないですか。

(質疑する者なし)

【中川委員長】 今ほど皆さんから聞いたとおり、意見不一致ということになろうかと思えます。この文面から5を引いて議運提案とすることにはならないというふうに思っていますので、不一致ということでさせていただきたいと思えます。

【古沢委員】 さっき2番、3番で不一致ということになったので、これは改めて議員提案で提出をさせていただきたいと思っております。その上で、不一致という意見表明がそれぞれからありましたので、議員提案をさせていただいて、提案理由なり賛成討論なりをさせていただきたいと思えますが、一致できないという方がもしおられるのであれば、ぜひその反対をする理由を明確にするために、反対討論をしていただきたいと思いますと思っております。

これは強制できる話ではありませんが、ぜひ反対する理由を明確にさせていただきたいと思っております。よろしくをお願いします。

あ、ついでに言うておきますが、ついでと言ったら叱られるな。3番のところの中にありますように、この核兵器廃絶というのは、かなり以前に滑川市議会で非核平和都市宣言をしたときに、核兵器廃絶ということをおうたっております。そういったことも踏まえていただいて、判断をいただきたいというふうに思っています。

【中川委員長】 それでは、次の日程第4に移ります。その他に入ります。

議員の皆さんから何かありませんか。

【古沢委員】 言うのも嫌なんですけど、私は、基本的に議員の発言は自由であるべきだという立場に立っています。しかし、これはあくまで暗黙の了解といいますか、良識の範囲内ということだと思えますよ。

残念ながら名前を出しますが、昨日の脇坂議員の質問、そしてそれに対する市長答弁というのは、本会議の質問、答弁ということに関して適切であったのかというふうに思わざるを得ないです。

こう言うては何ですけど、今度、候補者になられるかどうかまだ分からないのかもしれませんが、上田英俊さんの陣営の中での決起集会か、個人演説会か、そういった中身でありました。本会議場での発言としてはいかがなものか。

県知事選挙のときにも、同じような問題があったわけですよ。ああいう問題が当然予想されたんだから、あれは受付段階で考え直していただくというふうに求めてもらいたかつ

たというふうに思っています。

今日もメディアで盛んに紹介されているわけですよ。紹介のされ方としては、市長の答弁の中身をなぞると同時に、脇坂議員の一般質問に答えた、というような表現になっているんですね。

ほかの議会関係者があの記事を見られたら、滑川市議会は本会議一般質問でこういうことをやっておるのか、と思われて本当に心外だなと恥ずかしくなりました。

この後、議事録どうのこうのという話になったらまた一悶着あるんだと思いますからどうされるかは別ですけども、こうならないようにしてほしいというふうに思っています。

以上です。

【浦田委員】 昨日私も一言言わせていただいたんですけども、古沢委員と同様でありまして、公式の本会議、代表・一般質問の席上でということなので、あの内容が一般市政に関する質問かどうかということ判断する上で、やはり質問提出された段階で精査していただいて、適切かどうか。あるいは、判断できないのであれば、当人を呼んで、中身はどうなんだよということを取上げた上でやっていただくという形が必要だったんだろうというふうに思っています。

今ほど古沢委員さんが言われるように、想定された段階で、本来ならばあれはカットすべき質問であったというふうに私は思っております。

また、中身についても、あれは本当に市政一般に関する質問の答弁ではなく、ましてやもう既に選挙演説のような、応援演説のような中身でありましたので、これこそ本会議で、あの席上で述べるような中身であったかということを実は私も寂しく感じております。

以上です。

【中川委員長】 じゃ、今ほどのお二方の意見を踏まえて、議長のほうに伝えておきたいと思えます。

議長、聞いておられますから、言いたいことを。

【岩城議長】 一つ、それこそ受付の時点でということでありまして、実を言えば、替わられることに対しての市政への影響という形で、そういう返事だったと思うものだから、事務局とも、それならということで認めたと思えます。もうちょっと問い詰めればよかったのかなという反省もあります。分かりました。

【古沢委員】 それはその通りなんですけど、今の発言の中でも「替わられる」ってね。2区選出の国会議員が替わったって。まだ決まってないですよ。候補者にもなっておら

れんがですよ。その段階でああいうふうな、あたかも上田英俊さんが次の2区選出の衆議院議員に決まったような発言だったんですよ、あれは。皆さんもそういう前提で物を考えておられるがじゃないですか。候補者にもなっておられんがぜ、上田英俊さんは、私の知る限り。正式にそうなんでしょう。

【岩城議長】 そういうことも含めて、ちょっと先走ったかなという思いでありますので、また本人にも伝えたいと思います。

【青山委員】 脇坂議員は過去にも選挙絡み系の質問をされていますので、そこはしっかり、議場は市政をよくするための一般質問、市政一般に対する質問ですから、先ほどから皆さん言われているとおり、その辺やっぱりもう一度。

もちろん議長が通告で許せばというところはあるんですけども、しっかりしないと、毎回毎回同じことになる大変なことです。ここで一回線を引いたほうがよろしいかと思えます。

【中川委員長】 そういうことで、議長のほうからもまたお願いしたいと思います。

【岩城議長】 はい。

【浦田委員】 併せて、本人さんに嚴重注意しておいていただかないと。今言われたように、これは先また続きますので、嚴重注意が必要だと私は思っています。そこをまた検討いただければ。

【岩城議長】 その旨、嚴重注意を。本人を呼んで伝えます。

【中川委員長】 じゃ、そういうように、ひとつよろしくお願いします。

【岩城議長】 はい。

【中川委員長】 次、行ってもいいですか。ほかにないですね。

(質疑する者なし)

【中川委員長】 では、ないようですので、事務局から何かありましたらお願いいたします。

【藤名局長】 先ほどの意見書ですが、不一致となりましたので、議員提出される場合は、件名、賛同者、提案理由説明を6月18日金曜日までお申出願いたいと思います。

また、定例会最終日に討論を希望される方は、事務局に発言通告書がございますので、書面にて提出をお願いしたいと思います。

通告の最終は、21日月曜日の9時まででございます。

以上です。

【中川委員長】 今ほどの事務局からの説明に対して何か質問ありますか。

(質疑する者なし)

【中川委員長】 ないです。

以上で本日の議会運営委員会を閉会いたします。

ご苦労さんでした。

午前 9 時34分閉会